



ニュースリリース

Avid | On Demand SaaS Platformが発表 クラウドのメディアワークフローを提供

～Avid | On Demandは、コンテンツの変換、編集、保存のためのクラウドと人工知能を活用したサービス/ソリューションによるメディア制作オペレーションを革新します～

2018年4月13日(金) - 国際的なメディア組織、企業ユーザー、クリエイティブ・プロフェッショナルに、メディア・アセットの制作、配信、収益化技術を提供するAvid®(Nasdaq:AVID)は、オンデマンドでメディア制作機能を提供するクラウドサービスとソリューションプラットフォームであるAvid | On Demandを発表しました。Avid | On Demandにより、メディア組織は、必要な機能をプロジェクトごとに最適な弾力性をもって、実装段階や大規模な設備投資なしで、柔軟に導入することができます。

Avid | On Demandにより、チームはあらゆる場所・デバイスに向けたコンテンツを効率的に管理し、配信することができます。さらに、チームは多くのコンテンツ変換と品質管理タスクを自動化し、ジョブを完了するために必要なクラウドリソースのレベルを自動的にプロビジョニングできます。どのような状況においても、ユーザーはサードパーティのハードウェアを統合したり管理したりしなくても、必要なときに必要なリソースのみを購入することができます。

Avidの製品管理最高責任者、Dana Ruzickaは次のように述べています。「Avid | On Demandによって、過剰なプロビジョニングはもう必要ありません。当社のニュース、スポーツ、およびポストプロダクションのお客様は、制作ワークフロー全体にクラウドのメリットをもたらすことができます。チームでも個人レベルでも、より効果的なコラボレーションが実現できます。ストレージやその他の主要リソースは、管理しやすく、コスト効率に優れています。また、ユーザーは完全に安全な環境ですべてを行うことができます」

Avid | On Demandには、機械学習やcognitive services(認知サービス)をメディアに精通した方法で制作ワークフローに適用する新しいAvid | AI Suiteが含まれています。さらに、Avid | On Demandクラウドソリューションには、どこからでもインデックスされたコンテンツライブラリを保存、共有、アクセスを可能にするShared Library On Demand(共有ライブラリオンデマンド)が含まれます。また、新しいEditorial On Demandにより、編集チームは、場所に関係なく、より大きなコラボレーションのためにフォルダ、プロジェクト、ビン、メディアを共有することができます。

Avid | On Demandクラウドサービスには、以下が含まれます:

- **Avid | AI:** Avid およびサードパーティの新しい機能スイートにより、クローズドキャプションの検証、言語の検出、顔の認識、シーンの検出、および音声からテキストへの変換など、コンテンツのインデックス自動化を実現。Avid | AI サービスには、以下が含まれます。
 - **Avid Phonetic Search:** Avid 独自の音声検索方法により、自動的にメディアのインデックスが作成され、ユーザーは単語やフレーズを入力して簡単にコンテンツを見つけることができます。
 - **Avid | Illuminate On Demand:** Illuminate On Demand は、コンテンツサプライチェーンの一環として、字幕や言語の検証プロセスを自動化します。オンデ



マンドサービスとして実行することで、メディアのフルライブラリを迅速に分析し、時間、リソース、お金を節約するとともに、精度を大幅に向上させることができます。

- **Microsoft Cognitive Services: MediaCentral®**のお客様は、Microsoft の Cognitive Services を利用することにより、顔検出、シーン認識、音声からテキストインデックス作成などの機械学習アルゴリズムを使用してコンテンツを自動索引付けし、容易に検索できる豊富なメタデータのライブラリを作成します。
- **Avid | Transformation Services:** コンテンツをトランスコードしてパッケージ化して、任意のプラットフォームに配信する一連のサービス。Avid Transformation services には、Microsoft Media Services などの Avid およびサードパーティのサービスが含まれます。

Avid | On Demand クラウドソリューションには、以下が含まれます:

- **Shared Library On Demand:** 強力なクラウドベースのメディアライブラリで、MediaCentral を使用してコンテンツを保存、管理、検索し、分散したクリエイティブチームを結ぶことができます。編集者、ログ担当者、ディレクター、プロデューサー、アーカイブ担当者はすべて共通のライブラリに接続できます。共通ライブラリを使用すると、どのデバイスからでもメディアにアクセスできます。
- **Editorial On Demand:** 新しいシステムに投資して新しいシステムを構築するのではなく、新しいプロジェクトを処理する編集能力を増やす必要がある場合、必要な **Avid Media Composer®** ライセンスとストレージだけで Avid On Demand ダッシュボードからリソースを確保できます。その後、再び元に戻すことも可能です。これら全て、完全に制御された安全な環境で行うことができます。

提供開始時期

Avid On Demand ソリューションとサービスは、2018 年の後半に Microsoft Azure でホストされます。詳細は、www.avid.com でご確認ください。

Avid について

Avid は、栄えある賞に輝く映画作品、テレビ番組、ニュース番組、スポーツイベントのテレビ放送から、音楽録音、ライブ・コンサートツアーにいたるまで、世界中が観て、聴いて、愛するメディアの協調制作、アセット保護、配信のためのデジタル・オーディオとビデオ・テクノロジーを開発し、業界で最もオープンで、革新的かつ包括的なメディアプラットフォームを提供します。Avid の最も有力で先進的なソリューションには、Media Composer®, Pro Tools®, Avid NEXIS®, MediaCentral®, iNEWS®, AirSpeed®, Sibelius®, Avid VENUE™, Avid FastServe™, Maestro™, PlayMaker™ などがあります。

アビッド テクノロジー株式会社は米国 Avid Technology の 100% 日本法人です。www.avid.com/ja

**当資料は、2018 年 4 月 7 に米国で発表されたニュースリリースの抄訳です。

<http://www.avid.com/press-room/2018/04/avid-on-demand>

本プレスリリースについては、以下までお問い合わせください。



アビッド テクノロジー株式会社 マーケティング部 フィールドマーケティングマネージャー 大塚健太
kenta.otsuka@avid.com

Avid のソーシャルメディアをご利用ください。

Avid のソリューションおよびサービスについて、詳しくは www.avid.com/ja、[Instagram](#)、[Twitter](#)、[YouTube](#) をご覧ください。また、Avid の [Facebook](#) ページ、音楽や映像制作に役立つ情報をお届けする [Avid ブログ](#) もどうぞご利用ください。

© 2018 Avid Technology, Inc.無断転載・複写を禁じます。Avid、Avid ロゴ、Avid Everywhere、Avid NEXIS、iNEWS、Interplay、AirSpeed、MediaCentral、Media Composer、PhaseFind、Pro Tools、ScriptSync、Sibelius は米国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc またはその子会社の商標または登録商標です。「Interplay」の名称は、Interplay Entertainment Corp. の許可を得て使用しており、同社は Avid 製品に対してなんら責任を負うところのものではありません。文中に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。記載の価格はすべて国内のみで有効なメーカー希望小売価格です。価格は予告なく変更される場合があります。

###